

行事の達人!

～「学芸会」の巻～

「行事の達人！」では、
先生方の声をもとに、
学校行事を
全力で応援します！

子ども一人ひとりに スポットライトが当たる 学芸会にするには！

それに応える学校は、
どんな工夫をして
いるのにかやあ。

学芸会といえば、
家族も楽しみにしている、
一大イベントじゃなあ。

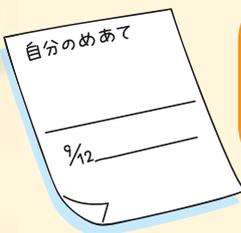
にやんた
学校行事に
興味津々な
若造ねこ



ぎょうじい
あらゆる学校行事を
見守ってきた
行事の化身

やる気を継続させる工夫

劇を大成功させるための学年の共通目標と、子ども一人ひとりの個人目標を書く欄、その日の練習の目標達成度を評価する表などを台本の最終ページに入れ込む。



台本の管理

台本は、年度ごとに管理しておく。
できればデジタル化しておく、
加筆修正がしやすいですよ。



“ずっと
大切にしたい！”
「台本」作りを。

演技を引き立てる
舞台効果の
ポイント！

劇を盛り上げる
大道具作りの
ポイント



- 幕の開け閉めは劇の流れを止めてしまう。暗転や張り出し舞台の効果的な活用を工夫する。
- 大道具や小道具の出し入れ台本も作成し、担当の先生と子どもの動きをスムーズにする。



- 図工の時間とコラボして、子どもに制作させる。
- 大道具は近隣の学校同士での貸し借りも有効。
- 舞台の背景はホリゾンライトやプロジェクターの活用で効果を上げる方法も。

9月

8月

一人ひとりを活躍させるポイント！

台本の最終決定には、子どもたちの合意を大切に！

- 劇に対する子どもの期待感ややる気を大切にするために、複数の台本を読み込ませ、選択させる方法も有効。
- 過去のビデオや役者の演技などを視聴させるとイメージがアップする。



台本を決めたら衣装まで構想を！

- 台本選びは夏休みまでに！子どもの実態に合ったよい台本が見つければ劇の50%は成功したようなもの！
- まずは、校内で使われた今までの台本を探そう！
- 異動してきた先生や、他校の先生とのネットワークをうまく活用しよう！（互いにメリットが大きい！）
- デジタルデータで台本を入手できると、その後の作業が格段に早くなる。
- 台本を修正する段階で、大道具やICTの活用などのアイデアも練っておこう！そして、すぐに手配を！

ために、中・長期計画を立てよう！



「学芸会」とは…

特別活動の中の「文化的行事」の一つです。児童が互いに努力を認めながら協力してよりよいものを創り出し、互いに発表し合うことにより、自他のよさを見つけ合う喜びを味わうことなどを目的として行います。



学芸会にあたり、職員間で意識しておきたいことは何でしょうか？



学芸会に使える時間は一〇時間程度。計画的に協力して進めないと間に合いませんよね。



練習は教師主導でやるのではなく、グループワークで進めたいです。



練習段階から、目立つ主役だけでなく、脇役も大切なことや、いろいろな役割を分担して、みんなで創り上げてこそ、真の学芸会の醍醐味が味わえることを伝え、意識させるようにしたいです。

事前

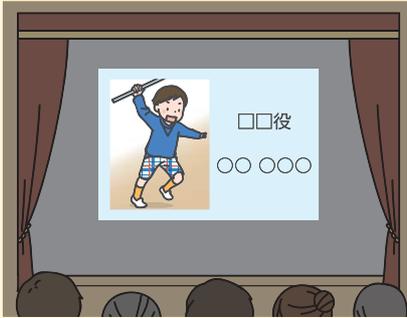
子ども一人ひとりに、役名と意気込みをひと言書かせ、学年だよりなどで事前に紹介する。子どもも保護者も、鑑賞する前にイメージがもて、期待感も高まる。



鑑賞への期待感・観劇後の感動を高める工夫

当日

練習風景や子どもたちの頑張っている様子を撮影しておき、エンドロール風に仕上げ、劇の最後に会場で流す。練習段階での努力も伝わり、感動すること間違いなし。



- 学年だよりなどで、衣装のイメージをイラスト付きで紹介し、用意してもらう。
- 保護者作業日を設け、家庭科室のミシンを活用して協力をお願いする方法も効率的。「共に創り上げる」感を学校と保護者が共有できて、信頼関係を深めるチャンスにもなる。
- 校内にあるものを最大限活用！ 学芸会後に残す場合は、よい状態で保存する。状態がよければ、次年度以降にも活用できる。

衣装作りのポイント



10月

11月

ちょっとした

便利アイテム

- 小型のスタンドライト
 - ペンライト
 - 蛍光テープ など
- *100円均一ショップで、大よそ揃います。

練習を通してさらに意欲を高める指導のコツ

- 自分の台詞に自信をもたせる(必要に応じて個別支援)。→ 声も大きくなる。
- 声出しのコツ→母音をはっきり&腹式呼吸
- 場面ごとのイメージをつかませる。動きをラフ画にして、演技は子どもに考えさせる(高学年は、グループワークで)。
- ビデオ撮影して、演技を客観的にふり返り、改善させる。
- それぞれの場面が形になってきたら、場面発表会を行い、相互評価をして改善点を助言し合わせる。→ 一体感と共に協働意識が高まる。



子ども

オーディションでやる気を引き出す！

- 声の大きさだけで決めない。技能は練習次第。その子の「やる気」を決め手にする。
- 配役は、学年全体を見てクラスの偏りがないようにする。

子どもと共に創り上げる学芸会にする

関連情報はWebへ！

行事の達人

検索

